Plat' Home

TECHNOLOGY to serve you.

2025年3月期中間期決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社 東証スタンダード 6836

2024年11月8日

目次

2025年3月期中間期

Section 1	ハイライト	Р3
Section 2	2025年3月期中間期 決算概要	P5
Section 3	事業構成	P10
Section 4	施策と進捗状況	P17
Section 5	業績予想(2025年3月期)	P20
Section 6	トピックス	P23
	Appendix	P29



Section 1 ハイライト



ハイライト

2025年3月期中間期

1 **売上高:増収 売上総利益:増益** (前年同期比)

売上高 : 565.6百万円 +22.5% +104.0百万円 (前年同期: 461.6百万円)

売上総利益: 217.6百万円 +22.2% +39.4百万円 (前年同期: 178.1百万円)

(要因) IoTゲートウェイとネットワークアプライアンスが増販 コンピューター関連商品に係るサービスが増加

2 中間純利益:黒字着地

中間純利益 : **0.2百万円** + **71.1百万円** (前年同期 : ▲ 70.8百万円)

営業利益 : ▲31.8百万円 +35.0百万円 (前年同期:▲66.8百万円)

(要因) 営業外収益: 33.5百万円 +33.4百万円

2024年3月期に実施した実証プロジェクトに対する農林水産省の補助金32百万円が交付

戦略:ソフトウェア・サービス型の事業形態への転換

・ソフトウェア・サービス収益の強化 ネットワークアプライアンス製品の開発・販売の強化を継続

・Web3技術とIoTを活用した実証事業を実施 真空サーバーを用いて日本酒業界のDX化を目指す実証事業を開始 花火産業にデジタル技術を活用する連携協定を秋田県大仙市と締結



3

Section 2 2025年3月期中間期 決算概要



決算概要

2025年3月期中間期

増収・増益

中間期黒字着地

自社製品コンピューター:ネットワークアプライアンス、IoTゲートウェイが増販

コンピューター関連商品:前年同期は出荷が集中したため、今期は減販 サービス・その他:コンピューター関連商品に係るサービスが増販

単位:百万円	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減率	増減額
売上高	461.6	565.6	+22.5%	+104.0
営業利益	▲ 66.8	▲31.8		+35.0
経常利益	▲ 66.8	0.8		+67.6
中間純利益	▲ 70.8	0.2		+71.1

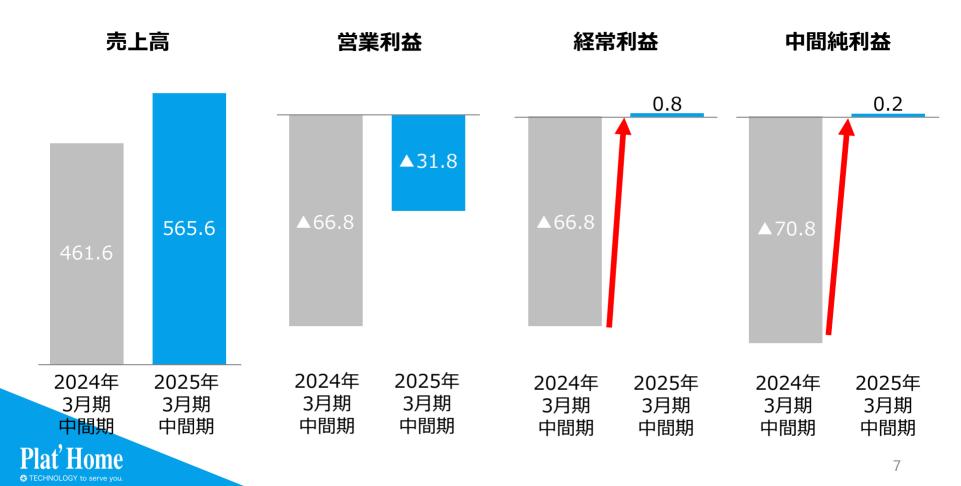


決算概要

2025年3月期中間期

増収・増益

単位:百万円



損益計算書

2025年3月期中間期

単位:百万円	2024年3		2025年3		前年同期	期比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	461.6	100.0%	565.6	100.0%	+104.0	+22.5%
売上総利益	178.1	38.6%	217.6	38.5%	+39.4	+22.2%
販管費	244.9	53.1%	249.4	44.1%	+4.4	+1.8%
営業利益	▲ 66.8	▲ 14.5%	▲31.8	▲ 5.6%	+35.0	_
経常利益	▲ 66.8	▲ 14.5%	0.8	0.1%	+67.6	_
中間純利益	▲ 70.8	▲15.4%	0.2	0.0%	+71.1	_



貸借対照表

2025年3月期中間期

単位:百万円	2024年	3月	2024年	9月	前期末	比
十四·四/3/1	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	158	24.6%	212	31.9%	+54	+34.3%
売掛金及び 契約資産	152	23.7%	184	27.6%	+31	+20.8%
棚卸資産	263	40.8%	204	30.6%	▲ 59	▲22.5%
その他	21	3.3%	17	2.6%	4	▲ 19.3%
流動資産	596	92.4%	618	92.6%	+22	+3.8%
固定資産	49	7.6%	49	7.4%	_	_
資産合計	645	100.0%	668	100.0%	+22	+3.5%
流動負債	251	38.9%	227	34.1%	▲ 23	▲ 9.3%
固定負債	37	5.8%	36	5.5%	A 0	▲2.4%
負債合計	288	44.7%	264	39.6%	▲ 24	▲8.4%
純資産合計	356	55.3%	403	60.4%	+47	+13.2%
負債純資産合計	645	100.0%	668	100.0%	+22	+3.5%



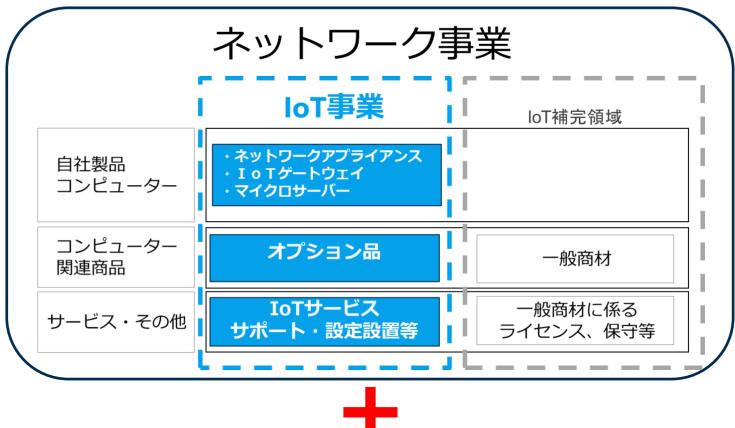
Section 3 事業構成



事業構成

2025年3月期中間期

従来のネットワーク事業に加え、 Web3事業の2事業で構成



Web3事業

IoTへのブロックチェーン技術応用

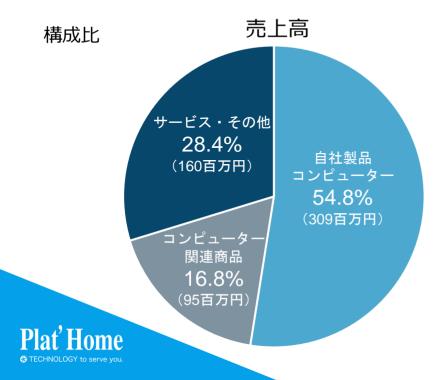


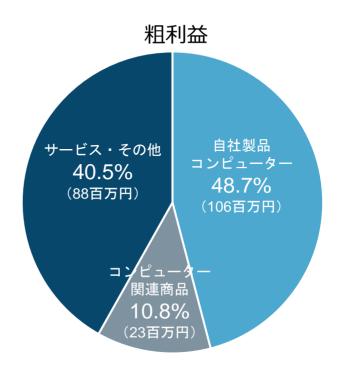
品目別の状況

2025年3月期中間期

売上高・粗利益ともに自社製品コンピューターが約5割

単位:百万円		売上記	ā		粗利益(粗利益率)			
	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額	増減率	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額	増減率
自社製品コンピューター	213	309	+96	+45.3%	77(36.5%)	106(34.2%)	+28	+36.2%
コンピューター関連商品	131	95	▲ 36	▲ 27.8%	30(23.2%)	23(24.7%)	▲ 7	▲ 23.2%
サービス・その他	116	160	+44	+37.8%	69(59.7%)	88(54.7%)	+18	+26.4%
合計	461	565	+104	+22.5%	178(38.6%)	217(38.5%)	+39	+22.2%





品目別の状況(自社製品コンピューター)

2025年3月期中間期

増収増益

単位:百万円	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減率	増減額
売上高	213	309	+45.3%	+96
粗利益	77	106	+36.2%	+28



【要因】

- ・ネットワークアプライアンス製品:増販
- ・IoTゲートウェイ製品:増販
- ・マイクロサーバー:前年同期に出荷が集中した 案件があったため減販
- I o Tゲートウェイは既存案件の出荷が順調に 推移



品目別の状況(コンピューター関連商品)

2025年3月期中間期

減収減益も高水準の利益率を維持

単位:百万円	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減率	増減額
売上高	131	95	▲27.8%	▲36
粗利益	30	23	▲23.2%	▲ 7



【要因】

- ・前年同期:半導体不足のために遅延していた 商品の入荷が再開されたため販売が集中 →今年度はそれが落ち着いたため減販
- ・売上総利益率は24.7%(前年同期は23.2%)



品目別の状況(サービス・その他)

2025年3月期中間期

増収増益

単位:百万円	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減率	増減額
売上高	116	160	+37.8%	+44
粗利益	69	88	+26.4%	+18



【要因】

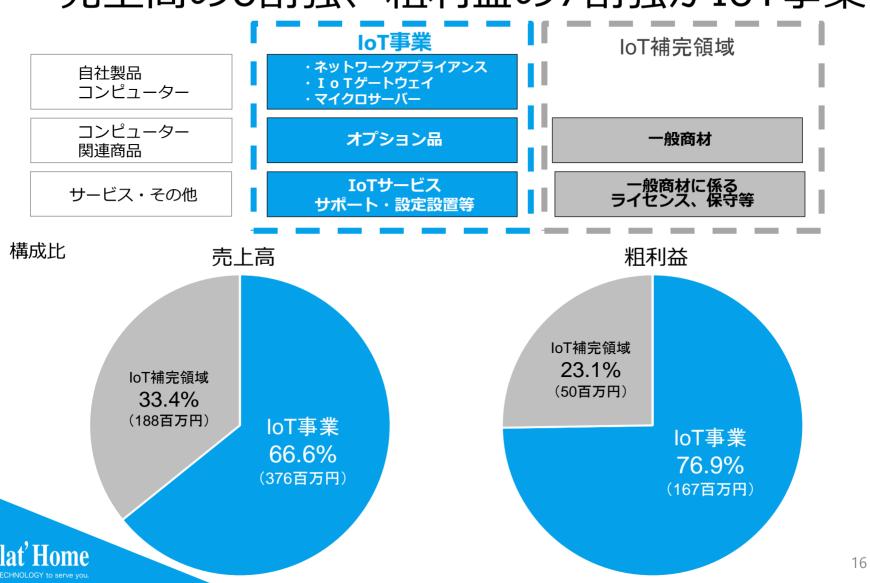
・コンピューター関連商品に係るサービスが増加



事業構成

2025年3月期中間期

売上高の6割強、粗利益の7割強がIoT事業



Section 4 施策と進捗状況



施策と進捗状況

2025年3月期中間期

ハードウェア中心の事業形態から ソフトウェア・サービス中心の事業形態へ ~ストック・サービス・レベニューの増加~

施策

進捗状況(中間期)

ソフトウェア・サービス収益の強化

- ・専用ソフトウェアを搭載し付加価値を高めたネットワークアプライアンス製品を収益化の柱の一つと位置づけ、この開発・販売の強化を継続
 - 「EasyBlocks リソース監視」を発表
 - 「EasyBlocks DHCP AS 5000 / 2500」を発表

ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入

- ・真空サーバーを用いて日本酒業界のDX化を目指す実証事業を開始
- ・花火産業にデジタル技術を活用する連携協定を秋田県大仙市と締結 - 「大曲の花火」へスマートフォン用公式アプリケーションを提供
- ・INTMAXと「モノ」を記述するRWAの汎用トークンプロトコルの 商用化に向け事業提携



施策と進捗状況(Web3事業)

2025年3月期中間期

INTMAXと「モノ」を記述するRWAの 汎用トークンプロトコルの商用化に向け事業提携







ThingsTokenでINTMAXと戦略的パートナーシップを発表

本パートナーシップは、弊社が開発する「ThingsToken ™ ※」と、INTMAXが開発する、Ethereum(L1)に対しスケーラビリティとプライバシーを大幅に拡張する新しいLayer 2 技術「Plasma Free」を組み合わせ、近年著しい伸びを見せる金融分野でのRWA(Real World Asset)の対象を、モノや様々なアセットを含む非金融の資産へ大幅に拡大するものです。

現実資産(RWA)トークン化市場は、2030年までに320兆円規模に成長すると米大手コンサルのマッキンゼーが予測しており、本パートナーシップを通じて、従来のRWAの枠組みの拡大を積極的に具体化していきます。

%ThingsToken :

ThingsToken ™は、現実世界の資産をブロックチェーン上に仮想化できるトークンシステム及びその技術です。現実世界の資産(RWA: Real World Asset)のモノや設備・デバイス群を仮想化することで、Web2の世界をWeb3の世界へ結び付け、現実資産に関連したトークンエコノミクスを加速します。ThingsToken ™ はぷらっとホーム株式会社の登録商標です。



Section 5 業績予想(2025年3月期)



業績予想(2025年3月期)

増収・増益予想

売上高: ネットワークアプライアンスに注力 利益: Web3実証事業の補助金収入を見込む

単位:百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減率	増減額
売上高	998	1,160	+16.1%	+161
営業利益	▲101	▲40		+61
経常利益	▲101	20		+121
当期純利益	▲107	15		+122



戦略(2025年3月期)

ハードウェア中心の事業形態から ソフトウェア・サービス中心の事業形態へ ~ストック・サービス・レベニューの増加~

ネットワークアプライアンスの強化

ネットワーク事業は「ネットワークアプライアンス」に注力。 IoTゲートウェイとマイクロサーバ―は既存顧客・既存事業の 維持・成長をサポートする。

Web3事業の商業化

年度内の商業化を目指し、実証事業を継続。



Section 6 トピックス



2025年3月期中間期

日本最大級の花火競技大会「大曲の花火」へ スマートフォン用公式アプリケーションを 提供開始

概要

2024年3月に大仙市と「花火産業の推進に関する連携協定」を締結し、「大曲の花火」へのデジタル技術の活用を「大曲の花火」事業関係者と検討・協議をして参りました。

そして、本取り組みの具体的な成果の第一段として、大曲商工会議所と「大曲の花火 スマートフォン用 公式アプリケーション」を発表・投入いたしました。

「大曲の花火」とは

1910年に開催された「奥羽六県煙火共進会」から始まる、「大曲商工会議所」と「秋田県大仙市」が主催となり、秋田県大仙市で行われる100年以上の歴史をもつ花火行事です。

2000年には「内閣総理大臣賞」が夜花火の部の最優秀賞として加わり、現在まで経済産業大臣賞・中小企業庁官賞・文部科学大臣賞・観光庁長官賞も授与されるなど、例年全国から鑑賞客が押し寄せる日本 最高峰の花火大会の一つになっています。

画面例







2025年3月期中間期

ネットワークアプライアンス製品の強化

「EasyBlocks リソース監視」と 「EasyBlocks DHCP AS 5000 / 2500」を発売

「EasyBlocks DHCP AS 5000 / 2500」 冗長化※機能を搭載し、コストパフォーマンスに優れた DHCPサーバーアプライアンス 「EasyBlocks リソース監視」 リソース・トラフィック監視が可能な アプライアンス製品







※冗長化:

2025年3月期中間期

ウェブサイトにて『ぷらっとブログ』を公開中





日常で起こるシステム問題(解決法)について話したり、 自社製品の小話や活用法を話したりしています。 ネットやシステム、サーバーなどに日頃ふれている皆さんへ お役立てできれば嬉しいです。





2025年3月期中間期

第三者割当による新株式発行

(第三者割当による新株式の発行)

2024年4月11日開催の取締役会決議に基づき、次のとおり第三者割当により新株式を発行。

(1)募集株式の種類及び数

(2)払込金額

(3)払込金額の総額

(4)増加する資本金の額

(5)増加する資本準備金の額

(6)割当方法

(7)払込期日

普通株式 65,100株

1株につき 718円

46,741,800円

23,370,900円

23,370,900円

第三者割当の方法による

2024年4月26日



Plat' Home

TECHNOLOGY to serve you.

本件に関するご連絡先 ぷらっとホーム株式会社 IR担当 03-5213-4376(平日9:30-17:00)

(注)スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、 消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果とな る恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的 に確約する義務を負うものではありません。

Appendix



ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設 立:1993年3月 決算期:3月

上 場:東証スタンダード 6836 資本金:1億2,337万円

社 長:鈴木 友康 (2024年4月26日現在)

社員数:34人(2024年9月30日現在) 売上:9億9,894万円(2024年3月期)

主な事業内容:

• IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始め とするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの 開発・販売

- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション 「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は2つの事業を通じて 「自由で安全なコネクテッドワールド」 の実現を目指します。

自由で安全なコネクテッドワールドの実現

ネットワーク事業

Web3事業

IoT事業

I o T補完領域

データ伝送・流通

当社独自の強みを生かしてさらなる成長と拡大を実現

アライアンスにより 新たなる成長を目指す



当社事業による社会貢献



環境への配慮

● 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- 当社の技術力により、産業界における I o T 化を促進。産業と技術革新の基盤を創出(SDGs目標9)
- 大型で電力を消費するサーバーに代替する製品として、当社製品は小型かつ 電力消費量低減を実現。製造者としての「つくる責任つかう責任」(SDG s目標12)
- 当社のパートナー戦略は、持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップを活性化(SDGs目標17)

当社の事業展開により、顧客とともにカーボンニュートラルに取り組み、SDGsを実現し、社会に貢献してまいります。

